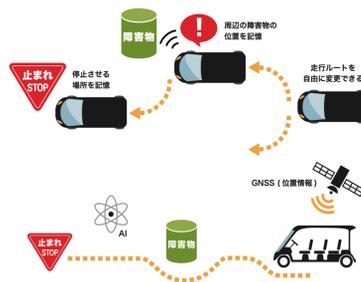


◆YADOCAR-i ドライブにできること

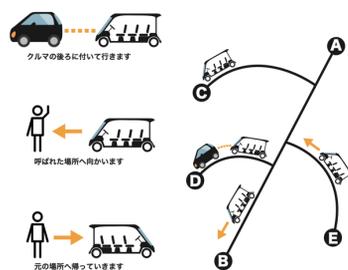
1. 走行ルートを変更される

道路に電磁誘導線を埋設する自動運転と異なり、走行ルートの変更が容易にできます。走行ルートの設定のためにドライバーが運転を数回繰り返して、AI学習により地図データを生成します。また周辺の障害物や、一時停止が必要な場所も記録していきます。また高精度三次元マップも使用しないため、自動運転のための特別な整備が不要で、導入までの期間は最短7日～10日程で行えます。



2. ついてくる、やってくる、かえっていく

様々な自治体の交通網や、施設での大きな課題はドライバー不足です。例えば、まずは人の輸送には人間が運転をして、YADOCAR-iには荷物を運ばせます。そんな時に YADOCAR-iのゆっくり低速走行は、荷物を丁寧に運んだり、多くの荷物をひとりで移動させる作業に適しています。人の運転する車を追尾して、荷物を下ろしたら自分で車庫に帰って行ったり、足りない重たい荷物を取りに行きます。これまで2人以上で行っていた作業をワンオペに変える工夫ができます。



3. リモートで状況確認や、制御ができる

オペレーターを乗車させない場合、車両がどこにいるのかはみちびきGPS (QZSS) で正確に把握できます。また360度の状況をリアルタイムカメラ映像で確認する事もできます。障害物を回避できず、自動走行が不可能になった場合には、リモートで車両を制御する事が可能になります。



◆YADOCAR-i ドライブの基本システム (2021年度モデル)

自動運転時最高速度10km/h。準天頂衛星みちびきを使用した高精度測位と方位測定、LiDARを使用したマッピングシステムを採用しています。

自動運転に必要な最小限の機能によるシンプルなシステムを実現します。

GNSS測位が不安定なトンネル状のルートではIMUセンサとマップマッチング技術で精度を保ちます。

モニター

車両の現在位置、障害物の検知状況を表示。自動運転システムの操作インターフェース



Dual GNSS receiver

準天頂衛星による自車位置測位と2点間データを使用した方位測定



各種電子機器がパッケージされた Put & Play BOX



2D LiDAR

レーザーによる障害物検知及び走行ルートとのマッチング(自車位置推定)用センサー



◆会社概要

社名 東海クラリオン株式会社
本社 愛知県名古屋市中区正木一丁目14番9号
設立 昭和46年8月
代表取締役 安部 源太郎
従業員数 64名

2022年6月現在

◆商品・サービス

設立以来、車載機器の専門商社として販売から取付、メンテナンスまで、一貫した体制でサービスを提供してきました。さらに自社開発の製品・サービスでは、画像認識や通信技術により、お客様の課題解決と、安心安全をご提供する取り組みを全国に展開しています。



iBOX/カメラ機能拡張ユニット

先進画像処理技術でバックカメラの映像をリアルタイム解析。自動車や歩行者などの移動体や荷物などの静止物を検知し、モニター画面表示とブザーで危険を知らせします。



TX2100/拡張性ドライブレコーダー

オプションカメラや居眠り防止装置などの機器との連携に加え、クラウドを利用した車両管理サービスに対応しています。「安全管理」も「ドライバー管理」も1台で対応ができます。建設重機にも活用されています。



IELU/高機能性電解イオンミスト

特許技術で製造しているIELUは、アルコールに耐性のあるノンエンベローブウイルスにも高い除菌力を発揮します。高い除菌力に加え、飲んでも無害な安全性を兼ね備える感染症対策品です。



GEOTAB

車両のOBD II コネクターに差し込むだけで、位置情報や急加減速などの情報を取得することができます。生産性の向上、コスト削減、車両管理のあらゆる課題を解決するグローバルテレマティクスです。